

マブリン散 1%
苛酷（無包装）安定性試験

平成 25 年 7 月
大原薬品工業株式会社

1. 試験目的及び試験方法

下記試料を下記保存条件下で保存した検体について安定性を確認した。

保存条件

- 1) 加温条件…40°C±2°C、3 ヶ月、遮光・気密容器(褐色ガラス瓶)
- 2) 加湿条件…25°C±2°C、75%RH±5%RH、3 ヶ月、遮光(褐色ガラス瓶)・開放
- 3) 曝光条件…3,000Lux(25°C、60%RH)、200 時間及び 400 時間 (総照射量 60 万 Lux・hr 及び 120 万 Lux・hr)、シャーレ・開放

品質評価方法

下記試料の製造販売承認書記載の規格及び試験方法に準拠して、性状、溶出試験、定量を試験した。

2. 試料

マブリン散 1%	Lot No. DM08
----------	--------------

3. 試験結果

品名	保存条件		性状 (n=1)	溶出性(%) (n=1)	含量(%) (n=2)	質量変化(%) (n=2)
マブリン散 1%	保存開始時		白色の粉末	99.4	99.8	—
	1)加温 条件	40°C 3ヶ月後	変化なし	96.5	99.4	—
	2)加湿 条件	75%RH 3ヶ月後	変化なし	92.9	93.5	2.33
	3)曝光 条件	60 万 Lux・hr	変化なし	93.3	99.0	1.36
		120 万 Lux・hr	変化なし	88.6	98.9	1.22

4. 結論

- 本製品は加湿条件下で質量増加傾向を認めたが、その他についてはいずれの保存条件下においてもほとんど変化は見られなかった。
- 本製品は吸湿に注意する必要があると考えられた。